

倉吉市公立保育所の役割と施設の配置に関する基本方針
(平成 31 年 3 月)

1 公立保育所を取り巻く環境の変化と課題

・子ども子育て新制度、幼児教育・保育の無償化、慢性的な保育人材の不足等、保育行政を取り巻く環境の変化への対応

幼児教育・保育における市全体の保育の質の向上と新保育指針による保育内容の平準化を図るため、行政の役割として私立を含めた保育士に対する助言、指導、相談支援が求められており、その役割を担う保育リーダー（保育士）の配置が必要となっている。

また、慢性的な保育人材の不足により、保育業務の多忙さから生じる疲弊感、精神的、体力的な負担感が以前より増しており、このことが人材不足に拍車をかける悪循環が生じている。

・一層の行財政改革に取り組み、安定的で持続可能な行政経営の推進

平成 28 年 10 月の鳥取中部地震災害の影響による本市を取り巻く環境の変化への対応

・公共施設等の総合管理計画に基づく施設の配置

既存の施設を現状のまま継続的に維持していくことは困難となっている。

人口減少、少子高齢化によるニーズの減少や変化等が進むなか財政的な負担を軽減しつつ老朽化が進む公共施設等の維持管理や更新を的確に行うとともに、中長期的な視点での総合的かつ計画的な維持管理へ転換することが必要である。

2 公立保育所の役割

○市全体の保育行政における公立保育所の役割

・地域における子育て支援の拠点

多様化する保育ニーズに対応した「保育」機能と地域の子育て世帯の相談、支援、地域に開かれた「子育て支援」機能を兼ね備え、次代を見据えた新たな子育て支援

・特別な支援が必要な子どもなどへの支援

発達障がい等の特に配慮が必要な子どもへの支援及び地域や親の子育て力を育むための相談、養育支援

・民間が経営面で保育サービスの提供を担うことが困難な地域の保育ニーズへの対応

○幼児教育・保育における質の向上を図る

保育行政として、市内全保育所等に対する助言、指導、相談及び時代の保育ニーズに即した先導的な取組を担い、保育の質の向上を図る役割

3 公立保育所の施設の配置に関する基本的な考え方

民間保育施設を含めた市域全体の保育行政の視点により、民間保育施設の運営に配慮しつつ、公立保育所の役割と地域の特性及び小学校への接続性の視点等を踏まえ、短期、中長期的な視点による検討をした上で施設を配置していく。

① 社、灘手、北谷、高城地域の保育需要への対応

民間保育所が多く点在する市街地以外における保育需要へ対応するため、現状の公立保育所が抱える課題の解決につながる新たな施設の建設、配置を行う。
→市の西部地域に点在する公立保育所への入所児童の受入施設として新たに2施設を整備する。

② 小鴨、上小鴨、関金地域の保育需要への対応

小鴨、関金保育園は一定規模の入所率で推移しているが、一方で、入所率が減少傾向にある少人数の上小鴨保育園を配置している。この地域全体の入所児童数の動向を見極め、適切な配置について判断する。

③ 上井、西郷地域の保育需要への対応

公立保育所を含め多くの民間保育施設が点在している。この地域全体での入所児童の動向を見極め、民間施設の運営に配慮しつつ、適切な配置について判断する。